

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	新型コロナウイルスの感染予防対策を継続しており、面会制限等を設けているが、逆に御家族の意向や要望を聞く場面が減る事に繋がり、普段の介護の場面にフィードバック出来ない面もある。	この状況下であるが故の、要望や意向の抽出に関して、方法を含めて検討し、入居者の方への介護サービスに結び付けられる体制を整える。	御家族との、面会時の情報交換を始め、電話や書面といった情報の共有化を図る。その際に得られた御意見や御要望を普段のサービスに盛り込めるように検討し、結果を御家族へ伝達する。	6～12ヶ月
2	26	年々介護負担も増加傾向にあり、より入居者の『実際の生活状況』に適したサービスを盛り込んだ介護計画が求められると思われる。	入居者の実際のADLを反映させた上で、より快適と思って頂ける生活を援助出来るような介護計画を目指す。	入居者の方の現状を、普段の変化も含めて細かに御家族へお伝えした上で、それらを踏まえて要望や意向を抽出し、介護計画へと反映させる。	6～12ヶ月
3	35	近年、自然災害による被害が拡大傾向にある事を踏まえ、より実践的な災害対策を検討する必要がある。	現在の入居者の身体機能を踏まえ、実際に災害が発生した場合を想定した対策を構築する。	スタッフの災害への意識を強める様に、法人の学習会等を利用して知識を深める。又、現状の避難経路や手順を整備する。	6～12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。